

種類 緊急

完 菅井副長殿

案 次 巻 第五 四 号

受信日時 10.10.13
受信時刻 10.10.13

発信者 菅井副長

0109

一 九月十日十時二十分及二十五分発信ノ貴電受領セリ

二 ホツヂ中將ト會見ニ関シ左ノ如ク準備方接涉相成度

一 汽車ニ展望車一ヲ牽引セシメ十日夕マデニ大田驛ヨリ回送セシメ
ヲレタシ

二 汽車準備不能トテ八飛行機ニテ十一日朝大田発龍山飛行場ニ前進
スルヲニ致セシタシ 在水原車直揚三機ヲ十一日大田飛行場ニ廻送シ

右使用供シタシ 飛行許可アリタシ

三 自動車ヲ永登浦驛ニ龍山飛行場ニ準備アリタシ

四 道路氷害タテ不良付自動車見テ前進ニ向ニ合ハザル故取止メタシ

五 時刻ニ遅ラザル様萬般手段ヲ用ヒテ天候又ハ汽車目下運航状況ヨリ
見テ遅ル場合ハキチ保シ難キニ付豫メ了解ヲ求メシタシ

三 隨行者 苗田參謀 副官及憲兵各一ノ事定



四. 植村參謀へ

第五航空軍司令部參謀長菅下參謀より水原より
密陽着、予定 十一日夕以降 電報 密陽及水原トモテ度シ
五. 電報 発信番號ヲ附セシメ

受信者 竹嶋中尉

0110

②

緊急

免丸

菅井副長殿

築本兵衛五〇五号

受付日時分一〇日二〇〇〇
着信日時分上〇〇一五〇

発信者 免丸 謀長

一 米軍重要部は毎日六時三十分部隊位置及行動軍司令部移動直後
 ニシテ通信施設不充分ナト各部隊目下移動中尤多把握困難ニ努メ
 致スベキ付諒承アリテキ旨接濟相成度

二 京仁地区ニ在リタル各部隊ヨリ召集解除除隊言人莫ハ朝鮮人ヲ
 含ミ約六〇〇名ナリ(内約五千名朝鮮人)

発信者 竹嶋中尉

0111

大桃参謀板

村上秋吉受領

鐵道局通信區長より電話

一、大桃参謀より依頼件軍司令官へ傳達済

二、軍司令官宿所大田神社(大田親長参謀長御座)

三、軍司令官八十二日辰 堂山一京城列車

永登浦着、予定二付、永登浦之自動車

可差出せし度(軍司令官より傳言)

尚鐵道局轉送ニ依リ該列車一ノ等車

ヲ連結スル由

0112

号外

宛先 京城連絡班長

築本参電五〇九号

大陸参メイトリ第四号 發令セラル

一、米國極東空軍司令官ノ所轄地域（北海道

本洲、四國、九州及シ北緯三八度以南、朝鮮

ト又）大陸参命トケ第一号）別紙ニ

示ス

航空総軍司令官ニ 交渉又ニ 聯合團

指揮官ハ 米國極東空軍

司令官トス

⑤

航空総軍司令官ハ 米國極東空軍

司令官ノ要求ニ應ジ 在北海道及シ

北緯三八度以南、在朝鮮 航空隊

ノ処理ニ関シ 左記事ノ項ヲ擔任スベシ

一、極東空軍ニ対スル情報ノ提供

二、極東空軍ヨリノ要求事項ヲ

第五航空軍及シ第七空軍

ニ傳達ス

通電先 五航空軍 京城水原連絡所

（水原車道連絡所）

築本参謀長

0113

③

0114

0115

著者	發行者	月	日	時	分	發信地	發着於
東京建設銀行 日本赤十字社朝鮮本部 朝轉電五〇	東京建設銀行 日本赤十字社朝鮮本部 朝轉電五〇						
〇一五一再病入ハツ電一三〇ウハ							
三式第一六四一部隊ニ赴任中ノ第五五〇教導							
班教導婦(カダカスコ)九月八日利吉隊							
ニ到着セルヲ以テ第四ニ〇教工班ニ編入							
勤務セシメタリテ承知アリ度							

0116

4

發	9月	著	第三号	受信者	野島司令部
	11日		野島司令部		
時	12時	發信地	東京	發信者	年參謀長
分	50分	於			
<p>四急電第五〇七号</p> <p>一 方面軍司令部ハ一日夕大田ニ</p> <p>到着自セリ高者今ノ間ノ京及北原</p> <p>ニ各々連絡確ヲ残留連ニ書ヲ送リ</p> <p>ニ兩令七廿日十七時ニ於ケルニ部隊</p> <p>(第五中隊)ノ位置圖並ニ行動</p> <p>(移動)スレバヨイ(報告)相成度</p>					

0120

發 9月11日 11時50分	著 9月12日 2時50分	受信者 東京陸軍總司令部	發信者 軍令部長	發信地 於
朝令電第五一三三号				
日本軍將校以下私物軍刀ニ關シ				
(マシカサ) 米陸軍部 七月左記				
旨令アリ 尚主旨、米陸軍全般				
ニ亙リ指令せらる。若三軍刀が当該將				
校以下個人的財産たるハ今後大				
量運來、的意ヲ我々有セズ且ツ				
家畜之上ニテ認ム得ベキ條件ノ下				
ニ所有ニ得ルル。但ハイ用ヲ禁ズル				
事ニ違フ。官有物ノ模創類ニ就				
テ、數關武器ト共ニ引上得ルモノトス				

馬



0121

發 著 日 時 分	受信者 京城連絡班	於 地信發	發信者 津之澤長
8月12日 12時50分	京 城 連 絡 班	於	津 之 澤 長
染糸之度第五回五号 京都正倉院品及三卷遺貨物運カニ輸 送カ爲井上大佐ヲ長トシ臨時輸 送處理班(將校以下約二〇〇名自 動貨車二〇輛)一四日九時乃至 二十時直横江橋ニ到着セシ 允平定ニ付キ米車ニ連絡 セラシ度 細部ハ三日夕 水原ヨリ度入ニ連絡ス			

0123

發	9月	10日	條	2分
著	苑	月	日	時
者信受	之謀副長			
者信發	軍司令官			
地信發	於			

朝鮮第五回八号

未年、厚求に依り、鮮内除隊(呂集解除)者ヲ再ビ
呂集ト部隊ニ復帰セシムルコト相成リタルニ付テ登山地
已ニル呂集解除(除隊)者特ニ内隊ヲ還セシムルコトヲ
連ニ呂集ト登山要塞司令官、鎮下部隊ニ取寄
ルコト也

尚登山地ニ南下セル部隊ノ復歸ハ今令貴隊ニシテ
ニ内隊ト向テ輸送ハ單獨ニト部隊トニカ、ワ、ズ嚴ニ
注意セシメ度

右此寫ニテ漢ニ傳ヘシ度

通達先

奉命要塞司令官部

高城道修現

0124

Handwritten text in the rightmost column of the grid:

小
子
の
名
を
書
き
な
し
て
お
く
な
さ
い

0127

發	月	日	時	分	者信發	地信發	於
	月	日	時	分	軍司令官		

朝 久々電 第五六一号

朝 軍司令官 甲子四九号 發令要旨

一 大牟田第一七方面軍 野戰序列ヲ解キ

其ノ隷(指揮)下部隊ハソレヲ從前ノ隷屬

(指揮)ノ關係ヲ維持シ 余ノ隷(指揮)下ニシテ

シヨラル

二 各部隊ハ從前ノ命令ニ依リ任務ヲ履行スベシ

通電先 五八A 一五D 一六D 三〇D 釜山要塞司令官

合意 以上水電文司令官 三四A

軍司令部司令官 大牟田方面軍司令部

二〇〇〇年四月九日 平壤方面軍司令部

五FA 京坂連絡隊

0129

發 日 時 分		受信者	
東京 13日 8時 00分		東京 藤原長	
發信者		發信地	
藤原長		於	
又デニ第十八早返電 一井上大佐ノ指揮ニ輸送班ノ京成滞在 日次ノ約一週間 輸送物件ノ主トシテ貨 物廠ノ糧秣一節 各部隊ノ殘置貨物 數量ノ約三〇〇トシ(百貨車)所在地 貨物廠 京成中區 朝二二三部隊 朝二三七部隊ノ主トシ 輸送班間ハ前地貨物廠所在地ト龍山駅 間トス 二井上大佐一行ノ京成到着後團係 上二三日遙見込先發ハ十四日到着 年定			

0130

發		月	日	時	分
著		月	日	時	分
發信者		遠 終班長			
發信地		年 冬 終班長			
<p>朝區電等五四七号</p> <p>人電一七号返</p> <p>一、大邱兵站病收容力一〇〇〇。</p> <p>二、現在入院患者數約五〇〇。外各野戰病院現在入院患者約三〇〇。</p>					

0131

發	月	日	時	分	發	於
發	月	日	時	分	信	地
受	者					發

菅井少將

菅長

朝參電第五六六号

上旨ホフデ中將ト會談ニ基テ治兵維持ニ関
シテ如ク命令セラルルヲ以テ未奉側及總督府
ニ通知シ置カレ度(中)仲明ト由日參謀會同、際更
ニ說明ス

一 治兵ニ関シテ未奉進駐迄、地方廳(警務)ノ支援ニ付リ
トシテ維持ニ任ズルニ從テ未奉ト變化ナシニ然旨府ノ未奉
ノ難下ニ入ル事ニ鑑ミ之ガ實施ニ付テハ各地方ノ
實情ヲ勘案シ上概テ標準スルニトス
ノ暴民流ヲ攪亂目標トシテ交通 通債 電カ水道等
ノ中樞及廳 重要物資及監獄等、地方廳ノ專
講ニテ所要ニ應ジ兵ノ力ヲ次テ認言ス
又當兵ノ活用ヲ重視ス
ニ 兵ヲ行候上地廳ニ申請ニモルヲ宗旨トス
ハ 治兵維持ニ關係アル行政事項、絶対ニ關係有
及軍費已同令書ト密接ナル連絡ヲ保持スルヲ基

0132

著者	發行者	月	日	時	分	月	日	時	分	發行者	發地	發於
<p>使用元ノ已ク多ク得ル場合ニ於テ武器表、 確言ニ除去シ然レ尾節ニ赤吹流シ。確言 附 三ノ成ニ得ル念ノ多ク更ニ現地筆ニ於テ相々筆 ニテシ前案ノ協定(通告)ノ上ニテ筆渡、高倉 三期元モトク 二朝鮮海峽 新羅船ノ中央早、正武艦隊、 受領シテラハシ金山 阜理局、等々後述 監部ニ對テ電請通報内容ヲ如シ 十三日ノ尚遂 航シラマシ 白山丸(一五〇名)内司(雲仙丸)一八〇名 内司(原田丸)船中ノ神戶(長崎丸)一〇〇名 内司(明祐丸)一五〇名内所司(戸田丸)一五〇名 神戶(カヲ内)塔載予定人員及内所 塔載トシ 以上</p>												

0135